福島民報
2022（令和4）年
12月16日
金曜日

発行所
福島民報社
福島市太田町13－17
（郵便番号960-8602）
電話代表　(024)　531－4111
編集局531－4122　広告局531－4153
事業局531－4173　販売局531－4175
購読のお申し込み
0120-373437

日東紡（福島）知事賞

ふくしま産業賞

第8回ふくしま産業賞

知事賞	
日東紡	（福　島）
福島民報社賞	
ナプロアース	（伊　達）
選考委員長賞	
磐栄ホールディングス	（いわき）
イービーエム	（福　島）
福島民報社奨励賞	
テラ・ラボ	（南相馬）
奥会津かねやま福業協同組合	（金　山）
小高ワーカーズベース	（南相馬）
伊藤石材工業	（福　島）
金　賞	
タンガロイ	（いわき）
朝日ラバー白河工場	（白　河）
銀　賞	
キョウワプロテック	（福　島）
ユニフォームネット	（郡　山）
トプコンオプトネクサス	（田　村）
福島三技協	（福　島）
営洋	（いわき）
特別賞	
新協地水	（郡　山）
キノシタコーポレーション	（福　島）
tenten	（福　島）
いわき材加工センター	（いわき）
さくらの郷	（二本松）
NCV福島センター	（福　島）
レパコ	（福　島）
ファーストヘルステック	（須賀川）
NITTOKU福島事業所	（福　島）
エガワコントラクター	（喜多方）
エム牧場	（二本松）

※各賞内の並びはエントリー順

日東紡　辻　裕一社長

ナプロアース　池本　篤社長

卓越したものづくりの技、地域活性化に資する企業活動をたたえる福島民報社主催「第8回ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）」の受賞者が決まった。県内80の企業・団体から応募があり、最高賞の知事賞には福島市に本店を置く日東紡（辻裕一社長）が輝いた。福島民報社賞には伊達市のナプロアース（池本篤社長）が選ばれた。

（8～10、22、23面に関連記事）

受賞者は【表】の通りで、知事賞1件、福島民報社賞1件、選考委員長賞2件、福島民報社奨励賞4件、金賞2件、銀賞5件、特別賞11件の計26件が選出された。

知事賞の日東紡は県内で福島、郡山両市に生産拠点を構えるガラス繊維（グラスファイバー）の製造メーカーで、医療関連事業も手がける。グラスファイバーで織る同社のガラスクロスは薄く、伸縮が少ない。性能の高さに定評があり、スーパーコンピューター「京」「富岳」の電子基板素材として連続で採用された。日本で初めてグラスファイバーの工業化に成功した技術の蓄積が生かされている。6Gなど次世代高速通信システムの技術的な根幹を担う企業として注目され、2023（令和5）年に創業100周年を迎える。

福島民報社賞のナプロアースは、東日本大震災により浪江町から伊達市梁川町に移転した。1996（平成8）年の創業以来、自動車の総合リサイクル業者として、あらゆる部品を再生可能な資源として回収し、リサイクル・リユースする態勢を整えた。「捨てる」から「よみがえらせる」へシフトした独自技術の世界標準化を目標に、業績を伸ばしている。

福島民報社賞
ナプロアース（伊達）

選考委員長賞
磐栄ホールディングス（いわき）
イービーエム（福島）

過去に「ふくしま産業賞」を受け、その後も着実に業績を伸ばし、社会への貢献が認められるいわき市の磐栄ホールディングス（村田裕之社長）、福島市のイービーエム（朴栄光社長）に対し、選考委員長賞が贈られる。

「ベンチャー」「女性の活躍」「伝統のものづくり」などをテーマに選考する福島民報社奨励賞には、南相馬市のテラ・ラボ（松浦孝英社長）、金山町の奥会津かねやま福業協同組合（目黒祐一代表理事）、南相馬市の小高ワーカーズベース（和田智行社長）、福島市の伊藤石材工業（安部和宏社長）が選出された。

学生部門	
学生金賞	
吾妻中生活科学部研究班	（福　島）
学生銀賞	
喜多方高生活部菊芋班	（喜多方）
会津大短期大学部高橋ゼミ	（会津若松）
田村高滝桜ボランティア隊	（三　春）
福島高専SEEK開発チーム	（いわき）
修明高野菜専攻班	（棚　倉）
学生奨励賞	
会津農林高農業園芸科作物専攻班	（会津坂下）
郡山女子大食物栄養学科	（郡　山）
会津大短期大学部産業情報学科プロダクトゼミ	（会津若松）
福島学院大短期大学部情報ビジネス学科（アサノ組）	（福　島）
福島高スーパーサイエンス（SS）部放射線班	（福　島）

※各賞内の並びはエントリー順

学生部門
中学生が初の金賞
吾妻中（福島）

学生部門は、福島市の吾妻中生活科学部研究班＝内藤咲月（さつき）部長＝が最高賞の学生金賞を受ける。同部門の募集は5回目で、中学生のエントリーは初めてだった。

研究班のメンバーは、県産農産物の風評払拭を目指し、市内の農業関係者と連携して糖度の高いトマトの栽培を目指した。液体肥料に混ぜる塩化物の分量や種類について試行錯誤しながら研究を進め、独自の調合法を考案した。連携した農業関係者は来年から育成に取り入れる。

学生部門には県内の大学・短大、高専、高校、中学校から15件の応募があり、11件が入賞した。

表彰式は2023年2月3日、郡山市のホテルハマツで行う。

吾妻中　内藤　咲月部長

防衛増税、時期示さず

与党 復興税 最長13年間延長

法人4％台　所得1％合意

自民、公明両党は15日、与党税制協議会を開き、防衛費増額の財源確保策として、法人、所得、たばこの3税の増税方針を2023年度税制改正大綱に盛り込むことで合意した。法人税は4～4・5％、所得税は1％を税額に上乗せし、たばこ税は1本換算で3円引き上げる。与党内の強い増税反対論や拙速批判に配慮し、実施時期は「24年以降の適切な時期」として明示せず、判断を来年に先送りした。（6面に関連記事）

両党の税制調査会はこの日開いた会合で増税方針を了承した。16日に大綱を決定する。自民税調の宮沢洋一会長は増税の実施時期が決まらなかったことを踏まえ「（来年の）通常国会に法案を出せない」と記者団に語った。

所得税は防衛費に充てる目的の付加税を創設。東日本大震災の復興特別所得税の税率を現在の2・1％から1％分を下げ、防衛向けの財源に転用する。現在37年までとなっている課税期間を最長で13年間延ばし、復興財源の総額は確実に確保する。

復興財源
「確実に確保」
被災地配慮　最終案に明記へ

自民、公明両党は議論中の2023年度税制改正大綱案に「政府は東日本大震災被災地の課題に対応するための財源を確実に確保する」との趣旨の文言を盛り込む方向で調整している。複数の関係者が15日、明らかにした。

最終案には帰還困難区域の避難指示解除や東京電力福島第1原発の廃炉など具体的な課題に対応する国の責任なども記し、改正によって復興への影響が出ないよう配慮する方針だ。

◇おことわり　連載「鉄路と生きる」は休みました。

あぶくまぬ

「間」は芝居、漫才などの動作やせりふの間に挟む休止の時間を指す。決して無駄ではない。「間が抜ける」は、大事なものが抜け落ちることを意味する。▼新型コロナ禍で普及したオンラインの会議や交流は、そんな大事な間を奪った面もあるようだ。会合の合間や終了後の談笑は相手との距離を縮めるのに役立つが、どうもしにくい。歌人の永田紅さんはエッセーで指摘する。オンラインにより〈時間的にも空間的にも間がなくなったことで、無駄とともに、余白の面白さも省かれた〉▼普通であれば、忘年会も中盤を迎える時節。民間の今年の全国調査によると、職場での開催を望んでいるのは20代に多い傾向にあった。「同僚や上司とコミュニケーションを深めたい」といった意識があるという。年代が上がるにつれて「気を遣うのが疲れる」「仕事以外で職場の人と関わりたくない」などと、消極派が目立つ▼先輩に対する若者の思いは、今年も届きにくい状況にあるのだろうか。県内企業の約8割が開催に慎重とのアンケート結果が出た。せめて辛苦の一年を共にしたねぎらい、感謝を込めた言葉を掛け合いたい。新旧世代の隙間を越年させぬよう。

衆院新3区 結論持ち越し

比例1枠配分 要望へ

自民県連 候補推薦

新1区 亀岡氏
新2区 根本氏
新4区 吉野氏

衆院小選挙区定数を「10増10減」する改正公選法で県内選挙区が5から4に減るのを受け、自民党県連は15日、選挙対策委員会を開き、次期衆院選公認候補となる選挙区支部長に新1、2、4区はいずれも現職3氏を推薦することを決めた。一方、会津地方と県南地方の新3区は、現3区支部長の上杉謙太郎氏（47）＝当選2回、比例東北＝、現4区支部長の菅家一郎氏（67）＝当選4回、比例東北＝の現職2氏から1人に絞り込むのは現時点で困難と判断し、結論を持ち越した。（2面に関連記事）

選挙区支部長に内定したのは新1区が亀岡偉民氏（67）＝当選5回、比例東北＝、新2区は根本匠氏（71）＝当選9回、現2区＝、新4区は吉野正芳氏（74）＝当選8回、現5区＝。県内の郡市総支部の意向を踏まえた。

新3区の結論を持ち越したことについては、19日に「地元の意見」として党本部に伝えた上で、候補者調整を続ける。上杉氏は「県中、県南とともにあるとの考えは変わらず、どの選挙区になっても地域の要望を届けていく。今後の党決定を真摯（しんし）に受け止めたい」と述べた。菅家氏は「推してくれた地元の期待に応えられるようにしたい。引き続き、現職議員として会津をはじめ地域の課題解決に貢献できるよう努める」と話した。

県内選挙区の定数1減を巡って県連内には、自民の現有5議席を維持できなければ、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興に関する財源確保や制度拡充などの働きかけに支障が出るとの懸念がある。西山尚利幹事長は選対委終了後、「現職5人を引き続き国政に送るのが大前提だ」と述べ、比例代表で1議席を優先的に本県関係候補者に配分するよう党本部に求める考えを強調した。

「日本一」のふくしまをつくる
本社年間スローガン

お天気

きょう	6	12	18	24時	17日	18日	19日
福島	40	30	20	6/2	40	70	70
伊達	40	20	10	6/0	30	70	70
二本松	30	10	10	6/0	40	70	70
本宮	30	10	0	4/0	50	70	70
郡山	30	10	10	5/1	60	70	70
田村	40	10	0	4/-1	50	70	70
石川	20	10	0	5/0	70	60	60
須賀川	20	10	10	4/0	60	70	70
白河	20	10	10	6/-1	70	40	60
若松	80	60	30	4/0	70	70	70
喜多方	80	40	20	2/-1	80	90	70
西会津	90	80	50	2/1	90	100	80
猪苗代	70	40	20	1/-2	70	70	70
南会津	80	40	30	2/-1	70	70	70
相馬	20	10	0	7/0	40	40	60
南相馬	20	10	0	5/0	40	30	60
浪江	20	10	0	8/0	50	30	30
富岡	10	10	0	10/2	60	50	20
平	10	10	0	8/1	70	60	20
小名浜	0	0	0	10/3	80	60	20

仙台 50　山形 80　新潟 90
東京 10　宇都宮 0　水戸 10

日本気象協会東北支社発表
天気マークの右は降水確率
□のち、◪時々、一時
■最高気温　■最低気温

概況、週間天気は22面

インテリア資材総合卸
TOYONEST
株式会社トヨネスト TEL024-545-3666
福島県福島市郷野目字宝来町65-1
http://www.toyonest.jp
福島／いわき／仙台／八戸／弘前／庄内／盛岡／秋田

磐梯山の酒
會津ほまれ
ほまれ酒造株式会社
喜多方市松山町村松字常盤町2706
電話（0241）22-5151

きょうのニュース

知財ノート　知は財をつくる　変わる商標　4
「自転車ロード」で復興発信　3
鳥インフル、搬出制限解除　22
船首ハッチ密閉されず浸水　22
薗浦議員、「過少記載認識」　23
おくやみ　7
テレビ・ラジオ番組と解説　6
地方版・ワイド　12・13
ふくしまは負けない明日へ　15
文　化　11
ひろば　19
学習応援みんぽう塾　15

新型コロナ速報

福島民報ホームページ
https://www.minpo.jp/
読者センター　0120-803344

意訳で楽しむ古典シリーズ
木村耕一 著
イラスト 黒澤葵
大きな文字で読みやすい
こころ彩る 徒然草
兼好さんと、お茶をいっぷく
有名な古典を、わかりやすく意訳しました
日々のストレス、悩みから、一瞬で力がぬけて、ホッとできる本です。嫌なことがあったら、この本を読みます。笑えるというか、自分をとりもどすことができます。（栃木県　66歳・女性）
14万部
◀試し読みができます
◎1,650円（税込）
1万年堂出版　〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-20-5F　https://www.10000nen.com/　全国の書店で販売中

無人島に、1冊もっていくなら『歎異抄』
歎異抄をひらく（たんにしょう）
今まで何人かの『歎異抄』解説書を読んできたが、本書は活字が大きく読みやすいし、内容も分かりやすい。また、編集デザインもよく、心楽しく手にすることができた。再読したい気持ちを駆り立てられる。
本書をもって『歎異抄』は卒業したいと思っている。私の書棚に残る一冊として大事にし、子や孫にも読ませたい。（71歳・男性　宮城県）
非常に読みやすく分かりやすい。心の迷いなど、これを読むことにより、なくなった。人生の残りの時間、年月をどう使うか、大きなヒントを与えてくれた。（64歳・男性　茨城県）
何事にも負けない、元気のわく本だと思いました。今はストレス社会ですが、くじけないで頑張りたいと思います。（50歳・男性　東京都）
毎日の生活に、なぜかむなしさを感じ、これで良いのかと思う生活が続いている。むなしさ、不安、他いろいろある中で、この本は、生きる目的を与えてくれました。（66歳・男性　北海道）
読者からのメッセージ
高森顕徹 著
『歎異抄』は、生きる力、心の癒やしを、日本人に与え続けてきた古典です。リズミカルな名文に秘められた魅力を、わかりやすい意訳と解説でひらいていきます。
ベストセラー 61万部
『歎異抄』には、親鸞聖人と弟子・唯円の対話が記されています。
◎1,760円（税込）オールカラー　978-4-925253-30-7　試し読みができます▲
原文の毛筆書きを掲載〈書・木村泰山〉
ご自宅にお届け希望の方は右記へ。（通話無料）0120-938-351　午前9時～午後8時（平日・土休日とも受付）